

# 船舶事故調査報告書

令和元年6月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	のり養殖施設損傷
発生日時	平成30年12月10日 05時15分ごろ
発生場所	香川県東かがわ市丸亀島北東方沖 脇元港沖防波堤灯台から真方位073° 2.3海里（M）付近 （概位 北緯34° 17.7′ 東経134° 19.3′）
事故の概要	ヨット <sup>ジャックタル</sup> Jacktar VIIは、東南東進中、のり養殖施設に乗り入れ、同施設が損傷した。
事故調査の経過	平成31年1月11日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	ヨット Jacktar VII、5トン未満（長さ7.09m）
船舶番号、船舶所有者等	220-15090宮城、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	なし
損傷	本船 なし のり養殖施設 ロープに破損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西南西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 低潮時
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、船長が、前日に丸亀島北東方ののり養殖施設（以下「本件養殖施設」という。）の存在を知ったものの、陸岸から約2M離せば安全に航行できると思い、東南東進中、本件養殖施設に進入し、本件養殖施設が損傷した。
分析	本船は、東南東進中、船長が、陸岸から約2M離せば安全に航行できると思い、本件養殖施設の設置状況を把握せずに航行を続けたことから、本件養殖施設に乗り入れ、本件養殖施設が損傷したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、東南東進中、船長が、陸岸から約2M離せば安全に航行できると思い、本件養殖施設の設置状況を把握せずに航行を続けたため、本件養殖施設に乗り入れたことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に小型船用の水路案内図等でのり養殖施設等の設置状況を適確に収集しておくこと。